**祝！　日本遺産認定記念**

**交通の変遷と大山道展Ⅱ**

**～「参詣道の石段」と「バス路線延長の歴史」～**

大山の繁栄には、人をひきつけて止まない秀麗な姿と、古くからの信仰的な背景が結びついた「大山の魅力」に加え、門前町の人々の地道な活動が寄与しました。すなわち「御師(おし)の布教・勧誘活動」、

「参詣道の石段の整備」、「（バス路線延長のための）石段から坂道へ」、「関東大震災の壊滅的被害からの復興」などが大きな役割を果たしていたのです。

大山参詣道は、大正初期までは、子易明神から先は石段のある坂道でした。この石段は参詣者のために、人々が何年もかけて総出で作り上げ、補修を加えて維持管理してきた賜物です。

しかし、この石段も交通が発達すると障害になってきました。そのため石段は参詣道沿いの人々によって取り外され、失われていきました。今回は、その失われた「石段の再現」を試み、「石段から坂道へ」、「バス路線延長」の歴史について紹介します。

**『大山絵図』（明治37年）に描かれた石段**

１．男坂　いきなり石段！



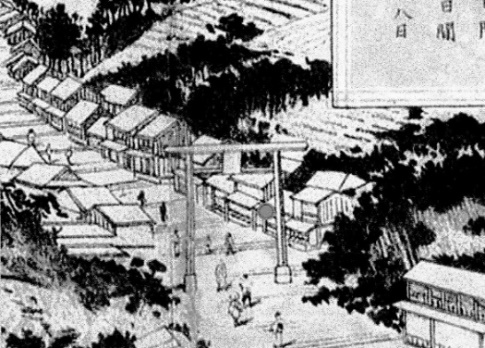
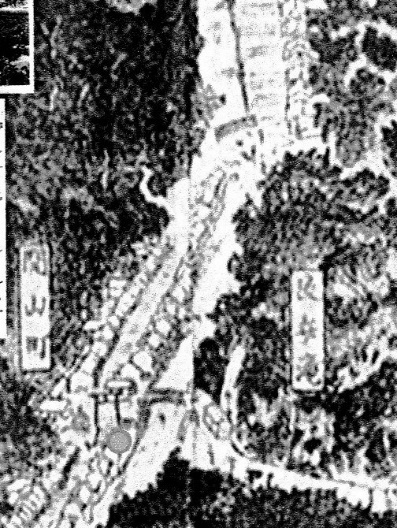


**1**

**２2**

２．とうふ坂付近の石段

３．三の鳥居付近の石段



**3**

【相陽勝地大山全景之図】松岡岩次郎　明治37年　より

開催期間：平成２８年１０月９日(日)～平成２９年３月２６日(日)の日・祝日に開催

開催場所：雨岳文庫資料館(山口家住宅内)　TEL.0463-95-0002

開催時間：１０：００～１５：００

主　　催：公益法人　雨岳文庫　企画制作：雨岳ガイドの会

後　　援：伊勢原市教育委員会

行き方：神奈中バス　伊勢原駅北口　大山ケーブル駅行

〆引(しめひき)下車　徒歩３分